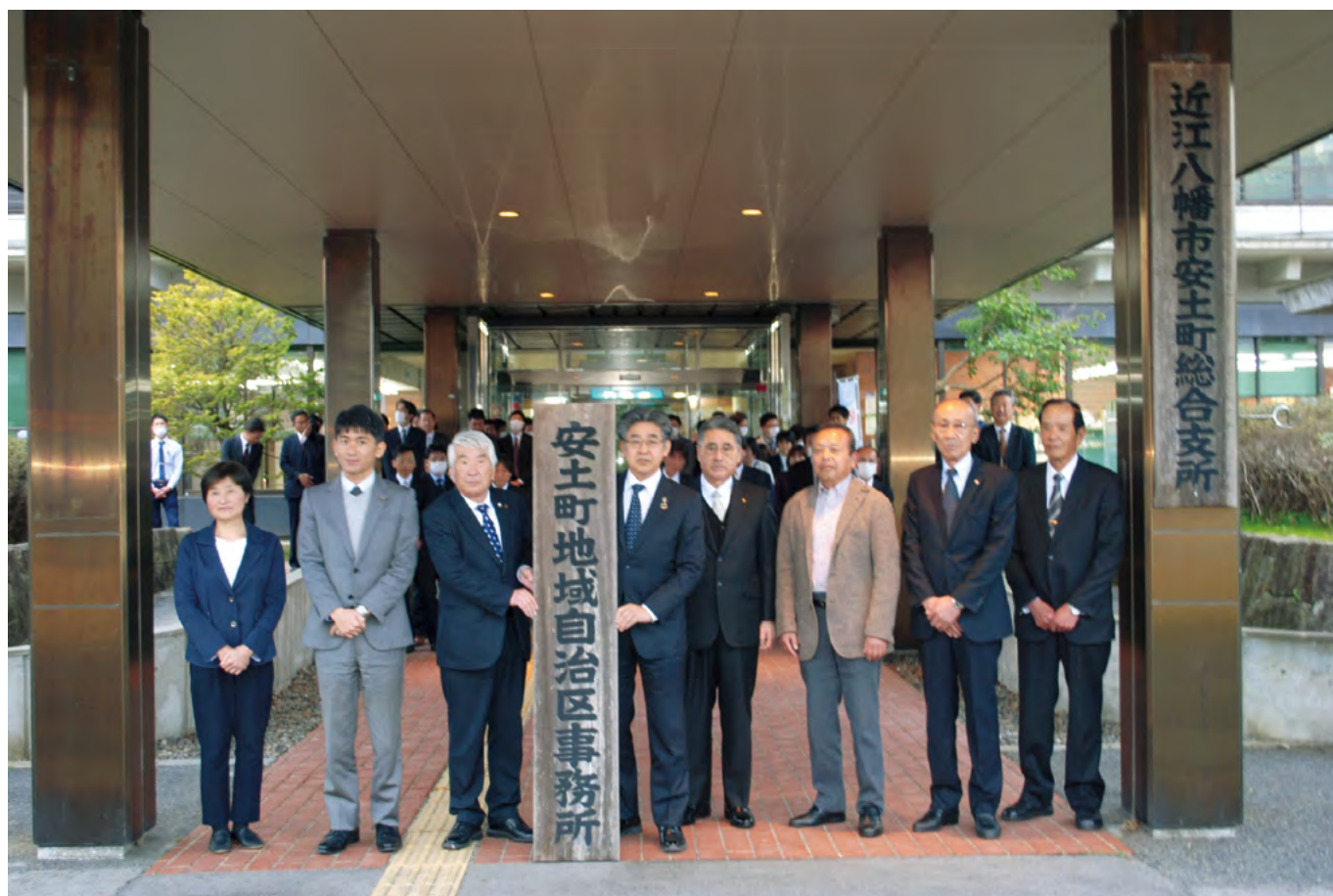


おうみはちまん 議会だより

2020
(令和2年)
第43号
5月1日発行

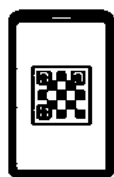
編集: 広報広聴委員会 発行: 近江八幡市議会 (年4回発行) 〒523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236番地 TEL 0748 (36) 5528 FAX 0748 (36) 7101
ホームページアドレス <http://www.city.omihachiman.shiga.jp/> Eメール 020200@city.omihachiman.lg.jp



【安土町地域自治区終了式 (令和2年3月31日)】

～合併10周年、新たなスタートです～

NEW !
今号より全ページがカラー刷になりました。



二次元バーコード(個人質問ページ)で本会議での質問の様子をご覧ください

今号の主な内容

- 定例会の概要 2
- 個人質問および代表質問 3～12
- 各委員会審査報告 13～14
- 議会報告会開催報告 15
- 提出議案と審議結果一覧 15～16

3月定例会の概要

令和2年第1回（3月）市議会定例会を2月19日から3月23日までの34日間の会期で開きました。

2月19日の開会日には、諸般の報告として、議長報告のほか、監査報告が行われ、12月定例会で継続審査となっていました「近江八幡市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について」の議案の撤回が採決により承認されました。続いて、市長提出議案として「専決処分の承認を求めることについて平成31（令和元）年度近江八幡市一般会計補正予算（第6号）」をはじめとする専決議案、予算関連議案、条例関連議案、その他議案、人事案件の合計63件の議案が上程されました。上程された議案のうち、農業委員会委員の任命および大林財産区管理委員の選任に関する人事案件23件については、採決と続き、原案に同意しました。

その後、議案熟読の期間を経て再開された3月2日には、追加議案として市長提出議案3件、議員提出議案として意見書3件が上程され、4日および5日に5会派が代表質問を、5日、6日、9日に16名の議員が個人質問を行い、議案質疑や市政全般に対する質問を行いました。

なお、5日の小西議員の個人質問中に富士谷議員が不穏当な言辞を用いたため、同日懲罰動議が提出されました。その後の本会議において懲罰動議が議題とされ、懲罰特別委員会が設置されました。懲罰特別委員会は、同日および6日に開催され、審査報告を9日の本会議で行いました。本会議での採決の結果、富士谷議員には公開の議場における陳謝の懲罰が科され、富士谷議員は陳謝しました。

9日には、上程された議案および意見書は、予算・総務・教育厚生・産業建設の各常任委員会に付託され、後日開催した各常任委員会でも当局から議案に対する説明を求め、審査を行いました。

23日の閉会日には、各常任委員会の審査報告を行った後、討論、採決を行いました。

本定例会に当局から提案された議案は全ての議案を承認・可決しました。また同日、追加議案として、市長提出議案として人権擁護委員の候補者の推薦に係る人事案件1件、議員提出議案として意見書1件が上程され、採決の結果、当局から提案された人事案件に同意しました。

なお、意見書4件は、1件を可決、3件を否決としました。

代表質問



創政会

市長の市政運営の

基本方針について

片岡 信博



問 令和2年度の市政運営の基本方針、成果を求める取組、予算編成、まちづくりについて、市長の所信をお聞かせください。

答 市長

令和2年度の市政運営の基本方針は、市民の皆さまの悩みや

成を行いました。引き続き、モノ中心の社会や考え方から心やヒト中心の考え方にシフトしていくことで市民が主役となった、市民の幸福度を考えたハートフルなまちづくりに取り組んでまいります。

令和2年度 予算の概要



滋賀県 近江八幡市

【その他の質疑・質問】

- ① 新庁舎建設問題について
- ② ふるさと納税について
- ③ 安寧のまちづくり事業について
- ④ 新エネルギーパーク整備事業について
- ⑤ 認定こども園について
- ⑥ 公文書管理について
- ⑦ 教育行政についてなど

代表質問



公政会

富士谷 英正

市長の公約違反、また
庁舎建設費用の正確さを問う



問 公約には「防災機能を備えた安土コミセン整備に優先的に取り組む」とあるが、予算には八幡学区の防災機能の整備が提案されておりその公約違反を問う。また小西案での庁舎建設費、また当初案で今日まで支払われた無駄となる費用、および旧施設活用（市は耐用年数20年）による20年間の補修費、また20年後の整備費用（いずれも無駄金）等の市民負担額を明示すべきで、もちろんその場合、子や孫の世代の負担（ツケ）となることを伝えるべきだと考えるが当局の考えを問う。

答 市長、総合政策部理事

安土学区における取組はスケジュールどおり進めますが、八幡学区の防災拠点機能整備も緊急に進めます。八幡学区を進めることで安土学区が遅れるという状況とは考えておりません。また、今年2月10日に開催された市庁舎整備等特別委員会に、

新庁舎整備事業に関連する事業費として、未確定なものも含め、できるだけ財源確保を図ってきたいということで、現時点で把握できるもの、想定できるものを資料として提出しました。新庁舎および南別館、ひまわり館を含めたランニングコストは、光熱水費等4,650万円と積算しています。



【南別館（現、水道事業所および教育委員会）】

【その他の質疑・質問】

- ① 近江八幡市の行政施策について
- ② 市長の政治姿勢と今後の方針について
- ③ 小西市政2年間の検証と近江八幡市の未来を問う

代表質問



政翔会

辻 正隆

時代を見据えた
自治体経営について



問 人口減少・高齢化や家族形態・地域社会の変容により暮らしを支える機能が低下し、新たな公共の協力関係により、暮らしを維持しなければなりません。これからは、自動処理化や効率的なサービス提供、そして、自治体ごとの行政システムへの重複投資をやめる仕組みが必要となると考えると考えられます。全ての機能を庁舎に集約する事だけが課題の解決にはならないと考えますが、スマート自治体への転換を見据えた自治体経営についてお聞きます。

答 市長

将来を見据えた自治体経営にはAIなどの先端技術により限られた人的資源と財源を最大化・最適化していく必要があります。そのために来年度策定の新規行政改革大綱は、これからのデジタル社会に適応できる行政経営全体の指針となる内容を予定しています。また、業務改革に

については今年度策定のICT推進方針に基づきAIやRPA等のICTの導入による効率化やクラウドシステムを通じた他市との業務の共通化などの改革を庁舎整備と両輪で進めることによりスマート自治体への転換と強靱な自治体経営力の確立を目指してまいります。



AIとは？

人工知能（Artificial Intelligence）の略語のこと。人間の知性を持っているように、学習・分析・予測ができるシステムを指します。

RPAとは？

ロボティック・プロセス・オートメーションの略語のこと。パソコン上で規則的に繰り返し行われるような定型業務を自動化するソフトウェアの総称です。

ICTとは？

情報通信技術（Information and Communication Technology）の略語のこと。情報処理や通信に関する技術を総合的に指します。

【その他の質疑・質問】

- ① 令和2年度予算の編成方針について
- ② ふるさと応援寄付金活用事業について
- ③ 雨水管理総合計画について
- ④ 近江鉄道存続問題についてなど

代表質問



日本共産党

森原陽子

新年度予算について



問 来年度予算に込めた小西市長の「市民が主役」「ハートフル市政」への想いを、具体的な施策でご説明ください。特に、ふるさと応援基金を用いての重点事業の「本のまち！動く図書館事業」「絵本に囲まれて育つ子ども事業」「子どもの遊び場遊具事業」についてお伺いします。

答 市長、教育長

「本のまち！動く図書館事業」については、図書約2千冊を搭載した移動図書館車で、市内の各ステーションへ巡回します。自力での来館が困難な利用者に対して読書支援を可能にし、より多くの市民に本と出会える喜びを届けます。本格的な運行は、令和3年4月からを予定しています。

「絵本に囲まれて育つ子ども推進事業」については、本市の就学前施設34園全ての絵本環境を整えるため、質の良い絵本を購入し、生きる力や学びに向か

う力の基礎を育むことをめざします。「子どもの遊び場遊具設置事業」については、昨年度のニーズ調査で、今後子育てしやすいまちづくりに必要な取り組みとしてご意見の多かった、子どもの遊び場を整備するため、運動公園と安土文芸の郷公園に乳幼児から12歳までの児童を対象とする遊具を設置する予定です。今後、子どもたちや保護者等の皆さんの声を尊重し、安心して子育てできる環境の整備に努めます。



【その他の質疑・質問】

- ① 新型コロナウイルスに関連して
- ② GIGAスクールについて
- ③ 今後の公共施設の活用について
- ④ 介護の重度化を防ぐ施策について
- ⑤ 公契約条例の制定について

代表質問



チームはちまん

竹尾耕児

不妊症・不育症 支援について



問 不妊症を経て妊娠された方や、不育症と診断された方は妊娠早期より頻回の妊婦健診が推奨（産婦人科診療ガイドライン2017より）されています。妊婦健診は公費負担が14回となっており、頻回の妊婦健診の方には自己負担が必要です。妊婦さんに安心して出産していただくためにも妊婦健診に4枚の補助券をつけることは可能でしょうか。

答 子ども健康部長

原因不明の反復・流産後の妊娠に、精神的支援を行うことにより流産率が低減するという報告があり、今後も子育て世代包括支援センターの助産師の専門性を活かして医療機関と連携を図り、妊婦の不安に寄り添いながら、相談や継続した支援体制、安心して過ごせる環境づくりに努めたいと考えます。

ご提案いただきました妊婦健診に4枚の補助券をつけ、妊娠

初期の健診の回数を増やすことが、着床後の安定した妊娠継続、流産防止のための妊婦に対する精神的支援策として、エビデンスのある効果的な方策であるかについて、お時間を頂戴して調査研究していきます。



【その他の質疑・質問】

- ① 新市庁舎整備事業について
- ② 八幡学区の諸課題について（無電柱化、八幡堀の浚渫、学区防災拠点）

個人質問



公政会

西津善樹

安土町地域自治区と
地域自治区の区長について



問 安土町地域自治区は、協議書に基づき、令和2年3月31日までの10年間に限り設置され、その間、地域自治区長を置くものとされています。市長公約で「**安土地域自治区を存続する**」、「**合併後の安土地域の不公平感の是正**」の2点が掲げられていますが、**公約は守られないのでは**うか。まさにこれを司る地域自治区長は、2年前に前任者が退任された後、**私は定例議会で早急に後任者を選任するよう求めてきましたが、なぜ今日まで選任されなかったのか**お示しください。

答 市長

地域自治区につきましては、法定期限までは解消しないことをお約束し、地域と連携してまいりました。合併から10年が経過し、まちづくり協議会や地元住民の皆さまのお陰をもちまして、それぞれの地域特性を活かした独自のまちづくりが進めら

れており、法に規定される地域自治区の役割は終了したと考えています。

区長の選任につきましては設置に向け努力を行いました但し選任に至っておりません。なお、区長不在の状況において、支所長に部長級を配し区長の役割を兼任強化する事により、良好に地域自治区の運営を行って参りました。令和2年4月以降も引き続き支所長が主体となって地域の皆様と安土の発展を考え取り組みます。



【安土町総合支所】

【その他の質疑・質問】

- ① 安土未来づくり事業について
- ② 安土コミュニティエリア整備について
- ③ 安土のまちづくりについて
- ④ 市役所新庁舎建設について

個人質問



創政会

小西 励

情報コミュニケーションに
関する条例の制定について



問 手話は言語という事で、近江八幡市では平成28年12月20日に「近江八幡市みんなの心で手をつなぐ手話言語条例」を制定し、平成29年1月1日より施行されました。手話が言語であることを普及啓発していくことや、すべての障がい者が等しく、言語を含む情報コミュニケーション（意思疎通）の権利を保障する条例について早急に制定する必要があると考えますが、当局としていかがお考えでしょうか。お伺いします。

答 市長

近江八幡市みんなの心で手をつなぐ手話言語条例の施行以降、聴覚障がい者のコミュニケーション保障に対する取組は一定進んできていますが、聴覚障がい者以外の障がい者の情報コミュニケーション保障の取組が十分でないことから、視覚障がい者等の当事者から情報コミュニケーション保障に関する条例

を作ってほしいとの意見もあり、条例の必要性は認識しています。このため、先行して制定された全国50自治体の条例を調査研究のうえ、当事者等の関係者、関係機関の皆さんと条例の制定に向けた検討を進めていきたいと考えています。



【その他の質疑・質問】

- ① 窓口サービスアンケートの調査結果（平成30年度）について
- ② プレミアム商品券について
- ③ 空き家の適正管理について
- ④ 教育行政、インクルーシブ教育について

個人質問



創政会

中部湖東幹線について

大川 恒彦



問 滋賀県道路整備アクションプログラム2018に組み込まれた、地域の実情に応じた道路整備事業で、野洲市比留田の日野川左岸より近江八幡市野村町を経由して大房町までの延長、約4.6kmを整備する事業と聞いております。今年度までの事業の流れとしてルート変更の決定、そして、地元や関係機関との協議を重ね、道路の高さや構造の検討をする道路予備修正設計（A）の実施となっておりますが、現在の進捗具合、また、今後の事業予定をお伺いします。

答 市長

県により進められております、中部湖東幹線については、今年度上半期に関係自治会への説明会が開催され、事業の進め方について自治会のご意見を伺っております。これを踏まえて県では令和元年12月に道路の高さや構造について設計検討や水害リスクの検討を行う業務の契約が

結ばれたところです。今後の予定としては、設計案がまとまり次第、関係自治会等関係者との協議の場を持ちながら合意形成のもとに、設計案を詰めて行くということです。



【その他の質疑・質問】

- ① 学校現場について
- ② 近江八幡駅伝競走大会について
- ③ 近江八幡市立図書館について
- ④ 自治会加入率について

個人質問



創政会

農地での砂利採取について

井上 芳夫



問 現在、老蘇地先の農地で砂利採取が行われています。農地法、砂利採取法に基づき県の許可等をもらって採取されています。表土のあま土を取り除きその下の砂利を取り、砂や石に分けてコンクリートなどに使用されます。老蘇地先では、地下水域が約7mの所にあるので、5mの所まで掘り下げるそうです。下流域には、老蘇浄水場等があり心配されています。砂利採取の基準・法令等遵守して事業をされていますが、市の方ではどのように考えられていますか。

答 農業委員会会長、水道事業所長

申請業者からは、砂利採取後の埋め戻しの土は、耕作者が現地で立ち合い確認の上、申請者の自社プラントにある水持ちの良い土で埋め戻すとの説明を受けております。万一、工事後の耕作に不都合となる事態が起きた場合は、対応に努める事としております。

採取現場下流域には、南部水源があります。採取に係る掘削の深さは5m以内での施工であり、井戸は35mと深いことから取水への影響は無いと考えますが、何らかの影響により濁りが発生しないとも限らないことから、土地改良区に対し水質確認を行うことで協議しております。



【南部水源地(安土町西老蘇地先)】

【その他の質疑・質問】

- ① 近江八幡市及び蒲生郡安土町の廃置分合に伴う地域自治区及び地域自治区の区長の設置に関する協議書について
- ② 老蘇コミュニティセンター周辺の雨水対策について

個人質問



創政会

南 祐輔

新庁舎の情報システム 関連費、その他について



問 新庁舎の情報システム関連費と災害時の情報伝達手段の整備について3点質問します。①情報システム関連費には約6億円かかる、という理解でよろしいでしょうか。②情報システム関連とは、防災と議会とネットワーク構築を指しているとのことですが、どのようなものか具体的に説明してください。③現在、新庁舎の基本計画、基本設計を策定していくところですが、防災システムの導入に関して何か具体的に決まったものがあるのならば教えてください。

答 副市長、市民部長

情報システム関連費は、平成30年当時の市庁舎建設計画時に情報収集した見積額や他市町を参考に約6億円と見込んでいます。防災システムは、庁舎が防災拠点として司令塔の役割を担うため、災害情報の収集や避難情報の伝達等、災害対策本部のシステム構築を想定しています。

議会システムは、議場や委員会の映像や音声の記録、本会議の中継放送に必要な設備です。ネットワーク構築は、庁内全体の情報システムを構築するものです。防災システムについては、今後、具体内容を検討し、実施設計に整備内容を反映させていく予定です。



【その他の質疑・質問】

- ①市内における不動産の取得状況について
- ②新型コロナウイルス対策について
- ③地域交通と安全対策について

個人質問



日本共産党

玉木弘子

国民健康保険について



問 国民健康保険に関して、①令和2年度の国民健康保険料の見込みについて②国民健康保険について、市から県へ挙げている意見および他市町から県へ出されている意見について③県の国保の統一化において、市の独自の判断で、収入のない子どもの均等割の減免を行うことができませんか
以上3点について市の見解をお伺いします。

答 副市長

①県の示す標準保険料率を参考に、保険料予定収納率等を考慮しながら、被保険者の負担増にならないよう配慮した上で、最終的には今後開催します国民健康保険運営協議会に諮り、慎重に決定していきたいと考えております。
②「さらなる公費の拡充」、「地方単独助成に対する国庫負担金等の減額措置の廃止」、「福祉医

療助成制度の継続と充実」、「子どもに係る均等割り保険料の軽減の制度化」以上4点です。
③全国や県下で統一した減免制度となることが重要であるべきと考えており、現時点での市の独自の減免は考えておりません。



【その他の質疑・質問】

- ①待機児童解消について
- ②放課後児童クラブについて
- ③防災について、滋賀県流域治水の推進に関する条例に関連して
- ④安土小学校建築の検討について

個人質問



凜成会

都市計画マスタープランの見直しについて

山元 聡子



問 桐原学区は、南は竜王町、西は野洲市に隣接し、中央にJR琵琶湖線が通過しており、地域の西にあり、中心部から離れており、都市基盤の整備も十分でないように指摘されています。現在のプランは20年計画となっており2020年が10年目となるため、令和2年度中の改定に向けて策定作業を進めるとお聞きしています。桐原学区を含めた八幡西地域の整備構想について、現在、どのような考え方を持って臨まれているのか、お伺いをしたいと思います。

答 副市長

都市計画マスタープランは、中長期的な視点に立った市の将来ビジョンとなる全体構想、地域別の構想、実現方策等の都市計画に関する基本的な方針を定めるものです。上位計画である第1次総合計画の策定や、人口減少・超高齢社会の進展による社会情勢等の変化に対応するた

め、改定作業を進めています。

将来構想については、現行プランの各施策の進捗状況や評価、実施上の課題整理を行ったうえで、住民の方の意見を十分に反映させるため、市民、市内中学生を対象に意向調査を行い、地域別懇談会を実施して策定する予定です。

近江八幡市都市計画マスタープラン



平成24年3月
策定 近江八幡市

【その他の質疑・質問】

- ① 国道47号の整備の促進について
- ② 日野川改修に伴う通学路の安全確保について
- ③ ふるさと応援寄附金の活用方法について
- ④ 文化財保存活用地域計画について
- ⑤ 文化・アートによる地域課題の解消について

個人質問



創政会

フレイル予防について

岡山 かよ子



問 フレイルとは加齢により筋力や認知機能といった心身の活力が低下していくことを言いますが、適切な介入、支援により日常生活を送るための生活機能の維持向上が可能であり、早期に対応することで、フレイルの状態から健康に近い状態へ改善し、要介護状態になるのを妨げることから令和2年度よりフレイル健診が始まります。当市での健診導入の方法とその後フレイル状態の人の対応方策について伺います。

答 副市長、福祉保険部長

令和2年度の高齢者健診より、高齢者の特性を踏まえ、健康状態を総合的に把握するために新たに作成された問診票を活用することになりました。健診の受診結果とあわせて取得された質問票の結果により様々な角度からのデータ分析が可能になるため、今後の保健事業につなげていくよう関係課で検討を進めて

いく予定です。また、フレイル対策については、高齢者の通いの場を中心とした介護予防を生活習慣病の疾病予防・重症化予防の一体的な取組としての検討が必要であるため、現状分析を行いながら対応を検討していきたいと考えています。



【その他の質疑・質問】

- ① 就職氷河期世代への支援施策について
- ② 子どもの体力低下について

個人質問



創政会

岡田 彦士

激動の合併劇から10年、
総括と安土の今後について



問 『歲月人を待たず』、近江八幡市と安土町が合併して10年、この3月をもって地域自治区は解消されます。合併の話が出てからおおよそ20年。特に安土町では町長リコール、議会解散等、未曾有の経験をしました。また、合併に際して大変な苦勞をし、合併後の10年の市町の調整にも多くの関係者が汗を流された日々でもありました。さて、その統括と今後の安土地域のまちづくりについて、改めて出発点としての当局のご所見をお聞かせください。

答 市長

市町合併は行政の仕組みやその捉え方が異なるところからの出発ではありましたが、安土学区、老蘇学区のまちづくり協議会や自治連合会をはじめ地域住民の皆さまのご尽力により、3月末に安土町地域自治区の法定設置期間が終了いたします。今後は、安土学区においては安土

城跡、西の湖等の歴史資産の活用や安土駅周辺の市街地活性化による働く場の創出を主眼点とした、老蘇学区においては農村地域として人口バランスのよい農業を活用した自治力を更に發揮して頂けるまちづくりの新たな仕組みの具体化が必要であると考えております。



【市町合併後に改修された安土駅】

【その他の質疑・質問】

- ① 安寧のまちづくり「静かな水辺で暮らす」西の湖エリアについて
- ② 安土学区における公共施設等について

個人質問



チームはちまん

山本 英夫

ライティングプロジェクト
推進事業について



問 日程、時間帯等、予定はどのようになっているのか、また、最新のデジタル技術を前面に押し出した事業展開とは、どのようなものとして想定しておられるのか、お尋ねいたします。今までの八幡堀まつりは、これまでのまちづくりに合ったアナログの口ウソクの世界観を大切にしたいものであったと思いますが、ライティング事業とまちづくりとの整合性について、また、予想される地元の交通問題等について、どのように考えておられるのか、お答えください。

答 総合政策部長

本プロジェクトは、秋の一大イベントである「八幡堀まつり」との連動的な開催となるよう、10月中旬頃からの2週間、時間は午後6時から午後9時頃に、八幡堀周辺の景観を活かしつつ、本市の歴史的、文化的なストーリー性を持たせ、最新のデジタル技術と芸術性が融合したライ

ティングを行い、「八幡堀まつり」の温かみのあるイメージも大切にしながら開催したいと考えています。
開催にあたっては、地域住民の皆さまのご理解をお願いしながら、既存の市営施設の開場時間延長や新たな臨時駐車場の確保を検討し、交通安全、渋滞緩和に向け取り組んでまいります。



【春の八幡堀の風景】

【その他の質疑・質問】

- ① 歴史まちづくり法について
- ② 近江八幡市屋外広告物条例について

個人質問



政翔会

学区まちづくり

沖 茂樹

協議会について



問 学区まちづくり協議会の事務局は、まち協の運営、まち協事業の実施、そして、まち協が関わる地域の各種団体の事務局機能をも担っていると思います。が、まちづくり協議会の発足以降、行政の各部署から、まちづくり協議会や地域の団体に委託あるいは移管された仕事は増えましたか。また、多くの仕事を抱えるまち協を運営するための主な財源は何ですか。そして、市長は、これからのまち協に期待する役割は何だと考えておられますか。

答 市長

まちづくり協議会が発足し、公民館で取り組まれていた生涯学習や生涯スポーツ事業が移管されており、貸館等の維持管理業務を委託しています。少子高齢化が進む中で、時代の変化に応じて事業は増加する傾向にあります。

主な財源は、各学区のまち協

に「まちづくり支援交付金」を交付しており、地元負担金等と合わせて運営されています。

これからのまち協に期待する役割ですが、まち協が中心となり、自治会活動等を通じて互いに助け合い、地域課題の解決に向けて協力し、地域住民が安心して心豊かに生活できることだと考えております。

今後、地域の方と十分な議論を重ね、地域の自治を高めていくとともに、ソーシャルビジネス活動についても共に考えてまいります。



【コミュニティセンター(岡山学区)】

【その他の質疑・質問】

①中部湖東幹線について

個人質問



日本共産党

檜山 秋彦

市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について



問 議第36号近江八幡市営住宅条例の一部を改正する条例案は、民法の改定が標準条例で、入居申し込みにあたっては連帯保証人の要件を不必要としているにもかかわらず、本市は今までもおり連帯保証人を求めているのはなぜでしょうか。高齢の一人暮らしなど、連帯保証人を立てられない事由で認められるものにはどのようなものがありますか。募集案内には「連帯保証人が見つからない場合の対応」について記載されますか。

答 都市整備部長

連帯保証人制度を残すことは、家賃滞納の抑制を図ることと、入居者の緊急事態の時の緊急連絡先の問題を速やかに対応するためであります。また、連帯保証人については、「高齢者」や「障がい者」、「生活保護受給者」などに対して、免除規定を考慮していますが、いずれにしても連帯保証人が見つからないから、入

居できないといったことがないように考えています。なお、募集案内については、今後の検討となりますが、そのような形で考えていきたいと思っています。



【市営住宅(武佐団地)】

【その他の質疑・質問】

①議第63号健康ふれあい公園サッカー場整備工事請負契約の締結について

②西の湖の観光開発について

③市庁舎整備について

④商工業振興事業について

個人質問



公政会

道下直樹

子ども議会開催について



問 県内の彦根市や甲賀市は子ども議会を開催しています。近江八幡市の公立小学校は12校ありますので1校2名ずつ選出すれば24人になります。奇しくも我々市議会議員と同じ人数です。例えば夏休みなどの長期休暇に子ども議会を開催して近江八幡市の政治と未来について子どもたちに考える場を提供していただかせんでしょうか伺います。

答 教育長

小学校では、町探検や安全な暮らし、憲法や政治について、中学校では、政治参加や地方自治について学びます。また、模擬的な議会体験・裁判員裁判のシミュレーション・役員選挙などを通じて、選挙のしくみを学習しています。平成28年度に、市議会・市長部局・教育委員会の3者主催で中学生議会を開催し、大変有意義な取組となりました。しかし、一部の子どもに

限られることや教員の業務負担も増えるため教育委員会としては、学習指導要領に基づき、授業の中で発達段階に応じた学習を積み重ねていきたいと思います。



【その他の質疑・質問】

- ①子どもの未来について
- ②財政について
- ③緊急時の対策について
- ④人口減少対策について
- ⑤継続質問について

個人質問



公明党

山本妙子

子宮頸がん予防ワクチンについて



問 子宮頸がん予防ワクチンは、12歳～16歳の女性を対象とし定期接種として公費による助成を受けられるようになりましたが、積極的勧奨を控えている今、対象者への情報を知る機会が失われていることが大きな問題となっています。子宮頸がんのリスクを下げるためにもHPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンの正しい情報を伝え、家族で話し合うなどして最良の選択ができるような環境作りが最も効果的な周知方法であると考えます。そこで個別通知を実施してはどうかお尋ねします。

答 子ども健康部長

平成25年6月に出された国通知では、HPVワクチンとの因果関係を否定できない副反応が明らかになり、適切な情報提供ができるまでの間、接種の積極的勧奨を差し控えること、また定期接種は中止するものではないので希望者が接種できるよう

周知と接種機会の確保を図ること、ただし個別通知を求めるものではないと方針が示されました。

しかし、令和2年1月に国審議会で情報提供のためのリーフレットの改訂と周知に係る見直しを検討されたことから、国や県内他市の動向も注視しながら、リーフレットを活用した個別通知、学校を通じた情報提供などの方策を検討していきたいと考えます。



【その他の質疑・質問】

- ①視覚障がい者を取り巻く環境について
- ②災害時における対策について
- ③子ども達を取り巻く課題について
- ④総合医療センターにおけるサービス向上について

個人質問



公明党

岩崎和也

まるごとまちごと
ハザードマップについて



問 全国的にまるごとまちごとハザードマップの取組が進みつつあります。各家庭にはハザードマップが配布されていますが、電柱や塀などに「想定浸水深」

や「避難所」などが記載された標示が設置されれば、市民は普段からの生活の中で災害対策への意識が高まると考えます。他市からの成功事例をもとに、本市でもポスターサイズぐらいで標示板を作成し、地域住民との協働で電柱や塀に貼り付けなどをして防災につながる取組を進められないでしょうか。

答 都市整備部長

日常時から水防災への意識を高めると共に、水害時には住民の主体的な避難行動を促し、人的被害を抑制することを目的とした、まるごとまちごとハザードマップの取組については、一定の効果があると考えており、今後取組についての検討を進めて参りたいと考えております。



【まるごとまちごとハザードマップのイメージ】

【その他の質疑・質問】

- ① ハートフルな市政に関して
- ② プラスチックごみの削減について
- ③ 公用車のエコカー推進と効率化について
- ④ 河川への不法投棄ごみについて
- ⑤ 避難所での設備や備蓄品等について
- ⑥ GIGAスクール構想推進事業について
- ⑦ 海外留学支援金の創設について
- ⑧ 庁舎建設問題について

個人質問



政翔会

小川広司

通学路の
交通安全対策について



問 馬淵小学校近くの感應式信号のある交差点で2月14日朝に、また2月25日朝には、その交差点から1つ南の交差点で起こった車同士の事故は、もう少し事故発生が遅ければ子どもたちが巻き込まれていたことが想像できるものでした。信号待ちの時の退避場所もグリーンベルトも無い危険な場所です。このような危険な場所が他に無いか、市内の学校近くの交差点を緊急に安全点検をすること、また馬淵のこの交差点に、退避場所設置などの安全対策を求めます。

答 教育部長

子どもが集中する学校周辺の交差点につきましては、平成24年に一斉点検を実施しました。以後、毎年合同点検を実施しており、なお危険な箇所は関係者と協議の上、再度点検を実施したいと考えます。事故のあった交差点につきましては、道路拡幅工事による歩道の設置が望ま



【馬淵小学校付近の感應式信号交差点】

【その他の質疑・質問】

- ① 県道近江八幡電王線（仮称岩倉バイパス）について
- ② 近江八幡市水道事業アセットマネジメント計画について
- ③ 移動図書館車導入について
- ④ 自治体における働き方改革について

予算常任委員会審査報告

委員長 小川 広司

予算常任委員会は3月10日、11日、12日、13日に委員会を開催し、4案件を審査しました。うち、議第12号令和2年度近江八幡市一般会計予算については賛成多数で、他3件は全員賛成で原案を可決すべきもの決しました。なお、審査過程において出された主な意見は次の通りです。

新庁舎整備事業の設計委託に関し、市長が進める案は当初案の解約によって生じた費用、また、建設費はおおよそ45億円程度とされているが、活用するひまわり館と南別館と安土町総合支所の維持費と耐用年数経過後の建て替え費用が明確にされてなく、当初案と市長が進める案の費用比較が明確になっていない。また、平米単価の上昇、ひまわり館を使うのであればワンストップではないことから、そのような無駄なお金がかかる新庁舎の設計費を含む予算には反対するとの反対討論がありました。

一方、予算に賛成ではあるが意見を付すとしたところの意見には、事業委託と補助金について、対ハートランド推進財団には当局が運営に関して精査し予算執行をとの意見。現庁舎の耐震化予算に賛成するが安土町総合支所なども早期に耐震化を含めた計画を示して頂きたい。ライティ

ングプロジェクト推進事業（八幡堀夜間ライトアップ2週間）には、地元で説明・調整し協議が整ったのち予算の執行をとの意見。また、全体として小さな庁舎で大きな福祉の路線が引かれ、市民の願いに応えた予算であることを大きく評価して賛成するとの賛成討論がありました。

総務常任委員会審査報告

委員長 岡田 彦士

当委員会に付託された案件について、3月16日に委員会を開催し、当局に対する議案質疑等を行い審査し、予算関連議案5件、条例関連議案3件、その他議案2件の計10件について全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

また、議員提出議案1件（会第1号）については、賛成少数で原案を否決すべきものと決しました。

なお、審査の中で、文化会館事業特別会計に関し、一般会計の繰入金給予算総額に対して大きいため収益を上げる必要性や文化会館の運営上、将来的に指定管理者制度の導入の検討が必要である等の意見が出され、また、議第37号に関し、地域自治区の設置終了期間に際して、地域住民の願いを受け止める支所運営を希望する、一方、設置終了後は平準化するのが本来の合併の姿ではないかと

の意見、議第38号に関して、沖島の振興について、今後の人口減少による税収の減収が見込まれる中、市財政の影響も鑑み、離島振興法の更なる有効活用が必要である等の意見が出されました。

教育厚生常任委員会審査報告

委員長 岡山かよ子

教育厚生常任委員会を3月17日に開催いたしました。

予算関連議案につきまして、議第3号、議第4号、議第6号、議第13号、議第14号、議第16号の6件は全員賛成で、また、議第5号、議第8号、議第15号、議第18号の4件は賛成多数で、原案を可決すべきものと決しました。

条例関連議案につきまして、7件全て、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

議員提出議案につきまして、会第2号は、賛成少数で原案を否決すべきものと決しました。

なお審査過程における主な意見として、議第15号の介護保険事業特別会計予算（保険事業勘定）について、地域支援事業費の、特に介護予防・生活支援サービス事業については、要支援1・2の方や虚弱の方に対する通所型サービスや訪問型サービスの事業所数や対象者数が少ないこと

など利用しにくい状況にあるのではないかと思われるため、予防対策の事業や予算措置を拡充すべきではないかという意見と、介護認定者数などの市町と比較して少ないということについては、認定者数が減ってきていることから、一概に介護施設が少ないとは言えないとの意見がありました。

また、議第18号の後期高齢者医療特別会計予算について、国の制度ではあるものの、高齢者を別枠の保険にして、窓口負担を現行の原則1割負担から2割負担に引き上げることがたびたび提言されており、国民の中に不安が広がっていることもあり、高齢者の負担軽減をする立場から反対するとの意見がありました。

会第2号の新型コロナウイルスの感染拡大防止を求める意見書について、感染拡大の状況も刻一刻と変化している中で、政府がさまざまな施策を実施し始めているところであるため、意見書を取り巻く状況が2月の提出当時の状況と大きく変化しているの意見書の内容を見直すべきではないかとの意見や、それでも、まだまだ取組ができていないところもあるので提出したほうが良いのではとの意見がありました。

産業建設常任委員会審査報告

委員長 井上 芳夫

産業建設常任委員会は3月18日に委員会を開催し、3月定例会に上程され付託された議案、予算関係議案5件、条例関係議案5件、その他議案2件、意見書1件について審査するため、委員会を開催しました。

なお、議案審査における委員の主な意見として、都市整備部が所管する「近江八幡市屋外広告物条例の制定について」では、広告主だけでなく、市全体で景観や屋外広告物に対する意識を高め良好な景観を形成し、景観に配慮したまちづくりの意識向上に努めてもらえるようにしていったほしいとの意見がありました。

水道事業所の審査では、本市の水道管は、全国的にみて低い耐震化率であり、老朽化も進んでいることから、今後の水道事業に与える影響を考えると深刻な課題であり、調査研究を深めていく必要があるとの意見がありました。

いずれの議案も慎重に審査を行い、全議案については、全員賛成で可決すべきものと決し、意見書については、賛成少数で否決されました。

市庁舎整備等特別委員会報告

委員長 平井 徹治

令和元年度に市庁舎整備等特別委員会を計7回開催しました。

第1回を令和元年6月27日に、第2回を8月28日に開催し、当局から第1回および第2回の庁舎整備基本計画策定委員会の経過報告および9

月市議会定例会における庁舎関連議案の説明を受け、高齢化社会を踏まえたワンストップフロアサービスの実施や防災拠点としての機能を備えること等の意見をまとめ、今後の庁舎整備基本計画策定委員会に反映できるように申し出を行いました。

第3回は、9月定例会において「議第102号 損害賠償の額を定めることにつき議決を求めることについて」を付託され、9月20日に開催し、当局の説明を求め、慎重に審査を行い、賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。なお、審査の過程で損害賠償額の積算が不透明である、契約解除は、市側の一方的なものであり、相手方へ誠意を持った対応が必要である等の意見が出されました。

第4回を11月28日に開催し、当局から第3回庁舎整備基本計画策定委員会の経過報告および市の新庁舎整備方針（機能、規模、建設場所）について、4案提示から2案を整備方針とする旨の説明を受け、あわせて質疑を行い、建築面積は、庁舎のレイアウトを先に算出すべき、新庁舎の建設にあたり、早期に賠償金の解決が必要である等の意見が出されました。

第5回を令和2年1月10日に開催し、当局から市民説明会の資料について説明を受け、新庁舎の建設場所として現庁舎敷地内での整備案が示され、質疑を行い、既存施設の活用については、本庁舎の耐震化工事については、市民や職員の安全性の確保と行政機能の維持・継続性の観点から、安土町総合支所も同時に実施すべきである等の意見が出されました。

第6回を2月4日に開催し、当委員会の次回開催における市長の委員

会出席の要求を議決し、委員長から議長に市長の出席要請を行い、第7回を2月10日に開催し、市長等に対して、市庁舎整備基本計画（案）等に関する質問を行い、それぞれ回答に対して議論を行いました。

今後も、引き続き、市庁舎整備計画等の進捗に合わせて、当局と活発な質疑および議論を行ってまいります。

懲罰特別委員会の審査概要

3月5日の小西励議員の個人質問時の富士谷英正議員による不穏当発言に対し、懲罰動議が提出されましたので、懲罰特別委員会を5日、6日の2回開催しました。

委員会は、関係人のプライバシーに関わることで委員会以外の議員の傍聴も認めない非公開で行い、小西議員への聴取および富士谷議員の一身上の弁明を許可し慎重に審査いたしました。

その結果、議場外の人間関係が不穏当発言の要因と考えられ、富士谷議員の弁明においては、小西議員の個人質問時における不穏当な発言について、議場におけるその発言を認め、深い反省と謝罪の念を確認しました。

審査の結果、個人質問中の議員に対し、不穏当な言辞を用いたことは、議会の品位を保持しがたい状況にすると認められ、このことは近江八幡市議会の秩序保持を侵害するものであり、地方自治法第132条（言論の品位）および近江八幡市議会会議規則第151条（品位の尊重）に抵触するものとして懲罰を科すものと、地方自治法第135条第1項第

2号の規定に定める「公開の議場における陳謝」との処分を決定しました。

9日の本会議にて懲罰特別委員長から審査報告を行い、賛成多数により富士谷議員に陳謝の懲罰を科すことが可決され、議長から陳謝文の朗読を命じられました。

「懲罰特別委員会」

委員長 竹尾耕児

副委員長 岩崎和也

委員 山元聡子、辻正隆、西津善樹、

片岡信博、平井徹治、檜山秋彦

議会運営委員会視察報告

当委員会において、閉会中の継続審査としました所管事務についての調査として、令和2年1月30日、31日にかけて、山口県山陽小野田市、山口県下関市に対し調査事項に関する行政視察を行いました。

まず、山陽小野田市議会では、情報公開の一環として本会議の他に議会運営委員会や各常任委員会、全員協議会のインターネット中継を行っておられました。さらには市民参加の一環として平成29年度より議会モニター制度を導入され、公募により8名のモニターが登録されていました。

次に、下関市議会では、山陽小野田市議会と同様に各委員会のインターネット中継を行っておられました。また、平成30年9月議会からタブレット端末を本格導入され、本会議での質問・質疑や各委員会における審議において活用されていました。

両市議会とも特に情報発信を積極的に進められており、より市民に身近な市議会を目指される取組は大変参考になるものでありました。

議会報告会を開催しました



1月26日(日)にイオン近江八幡店1番街2階催事場で第11回議会報告会を開催しました。今回の議会報告会は、より幅広い層の市民の皆さまに来ていただき気軽に立ち寄って話を聞いていただけるように、従来までの形を変えて『カフェ形式』で開催いたしました。約90名がご来場いただき、議員と意見交換などをすることができました。特に、買い物ついでに來られた家族や、お子様づれの若い夫婦など、今までの議会報告会では来ていただけなかった層の市民のご意見をいただくことができました。

今回は、3つのブースに分けて実施し、市議会の仕組みや1年間の議会の流れがわかるスライドを上映し、議会報告を記載したパンフレットを作成し、配布しました。また市政に関心を持っていたため、広聴コーナーとしてシールアンケートを実施しました。また、子育て世代の方が気軽にやっていただけるようキッズコーナーも設置しました。そのほか、記入式アンケートを実施しました。アンケートの中には「議員と気軽に話せて良かった」「や「参加しやすかった」などの声もたくさん書かれており、10代から70代以上と、男女問わず幅広い参加者が確認できたこともうれしい結果となりました。



令和2年第1回(3月)近江八幡市議会定例会に提出された議案と議決結果

賛否の分かれた議案・意見書等

議案番号	件名	付託委員会	会派	創政会							公政会		政翔会		①	②	③	④	⑤							
			議決結果	南大川	井上	岡山	岡田	小西	片岡	北川	道下	富士谷	西津	田中	沖中	辻	小川	森原	玉木	檜山	岩崎	山本	竹尾	山本	平井	山元
◆ 予 算																										
議第5号	平成31（令和元）年度近江八幡市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）	予算	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議第8号	平成31（令和元）年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	教厚	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議第12号	令和2年度近江八幡市一般会計予算	予算	可決	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	—	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第15号	令和2年度近江八幡市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）予算	教厚	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議第18号	令和2年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計予算	教厚	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
◆ 議員提出議案（意見書）																										
会第1号	唯一の被爆国にふさわしく、核兵器禁止条約に速やかに署名・批准することを求める意見書の提出について	総務	否決	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	—	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×	
会第2号	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を求める意見書の提出について	教厚	否決	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	—	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
会第3号	温室効果ガスの排出量実質ゼロを求める意見書の提出について	産建	否決	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	—	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×

○…賛成 ×…反対 ☆…棄権 —…議長および欠席者は採決に加わりません。

①:日本共産党 ②:公明党 ③:チームはちまん ④:新政会 ⑤:凜成会

全員一致で承認・可決・同意した議案		
議案番号	件 名	付託委員会
◇ 専 決		
議第1号	専決処分の承認を求めることについて 平成31（令和元）年度近江八幡市一般会計補正予算（第6号）	予算
◇ 予 算		
議第2号	平成31（令和元）年度近江八幡市一般会計補正予算（第7号）	予算
議第3号	平成31（令和元）年度近江八幡市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	教厚
議第4号	平成31（令和元）年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計補正予算（第1号）	教厚
議第6号	平成31（令和元）年度近江八幡市介護保険事業特別会計（サービス事業勘定）補正予算（第1号）	教厚
議第7号	平成31（令和元）年度近江八幡市文化会館事業特別会計補正予算（第2号）	総務
議第9号	平成31（令和元）年度近江八幡市水道事業会計補正予算（第2号）	産建
議第10号	平成31（令和元）年度近江八幡市下水道事業会計補正予算（第1号）	産建
議第11号	平成31（令和元）年度近江八幡市病院事業会計補正予算（第2号）	総務
議第13号	令和2年度近江八幡市国民健康保険特別会計予算	教厚
議第14号	令和2年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計予算	教厚
議第16号	令和2年度近江八幡市介護保険事業特別会計（サービス事業勘定）予算	教厚
議第17号	令和2年度近江八幡市文化会館事業特別会計予算	総務
議第19号	令和2年度近江八幡市大中の湖地区基幹水利施設管理事業特別会計予算	産建
議第20号	令和2年度近江八幡市水道事業会計予算	産建
議第21号	令和2年度近江八幡市下水道事業会計予算	産建
議第22号	令和2年度近江八幡市病院事業会計予算	総務
議第64号	平成31（令和元）年度近江八幡市一般会計補正予算（第8号）	予算
議第65号	平成31（令和元）年度近江八幡市病院事業会計補正予算（第3号）	総務
◇ 条 例		
議第23号	近江八幡市屋外広告物条例の制定について	産建
議第24号	近江八幡市コンプライアンス条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第25号	近江八幡市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	産建
議第26号	近江八幡市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第27号	近江八幡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	産建
議第28号	近江八幡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教厚
議第29号	近江八幡市子ども発達支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	教厚
議第30号	近江八幡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	教厚
議第31号	近江八幡市0次予防センター条例の一部を改正する条例の制定について	教厚
議第32号	近江八幡市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	教厚
議第33号	近江八幡市都市公園のうち有料施設の属する都市公園の管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教厚
議第34号	近江八幡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産建
議第35号	近江八幡市モーテル類似施設の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教厚
議第36号	近江八幡市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	産建
議第37号	近江八幡市及び蒲生郡安土町の廃置分合に伴う地域自治区及び地域自治区の区長の設置に関する協議書の一部を改正する条例の制定について	総務
◇ 人 事		
議第40号 議第61号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第62号	大林財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第67号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	省略
◇ そ の 他		
議第38号	近江八幡市沖島辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画を策定することにつき議決を求めることについて	総務
議第39号	市道路線の認定につき議決を求めることについて	産建
議第63号	健康ふれあい公園サッカー場整備工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	産建
議第66号	和解及び損害賠償の額を定めることにつき議決を求めることについて	総務
◇ 意 見 書		
会第4号	医療費助成における精神障がい者の適用に関する意見書の提出について	省略

【お知らせ】

6月市議会定例会の日程は、詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。また、市議会臨時会の結果については、次号（第44号）で掲載します。

皆さまからの議会運営に関するご意見を、メールまたは文書にて、議会事務局までお寄せ下さい。

〒523-8501 近江八幡市桜宮町236番地 Eメール：020200@city.omihachiman.lg.jp FAX：0748-36-7101



●インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
●印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷